



◇ 新年のご挨拶 ◇

1月4日(水) 午前9時

「河崎会」グループの新年互礼会が、水間病院で行われました。

河崎建人理事長から、「昨年は、大変なことが起きた1年でした。3月には東日本大震災が起り、多くの方が被災されました。また9月には河崎茂前理事長が亡くなりました。前理事長の想いを胸に、水間の地に「教育」「医療」「福祉」がしっかりと根を張っていくためには、皆さん各々が課せられた課題をきちんと遂行し、協力していかなければならないと思います。



今年は辰年です。私は年男です。しっかり基盤をかためて頑張っていこうと思います。平成24年は、社会でも色々な変化がある1年になりそうです。今年の目標は「チャンス」「チャレンジ」とし、全員が一致協力して頑張っていきましょう。みなさん頑張りましょう。」と話されました。

◇ 学長 ◇

1月10日(火)

昨秋より、病気療養されていた上好学長が快復され、年頭の挨拶を行いました。「開学以来、少子化と大学全入時代による変革期を迎え、ゆとり教育のまっただ中を歩んできた学生さんの入学で、色々な対策を講じてきました。これからは地域性を活かして、小規模に特化した大学として社会に貢献できるセラピストを育成していくよう頑張りましょう。」と話されました。



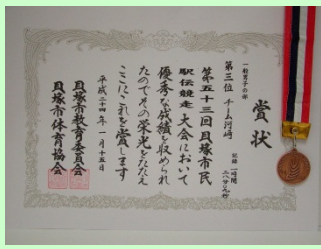
◇ 陸上サークル活躍 ◇

1月15日(日)、第53回貝塚市民駅伝競走大会に陸上サークルが参加し、第3位と健闘しました。

50チームが参加し、20キロを6人(2年生2人、1年生4人)でリレーしました。現役の高校生にはかないませんでしたが、昨年より順位もアップし、賞状とメダルをいただきました。おめでとうございます!!



来年も頑張ってくださいね。



◇ 出前講座 ◇

出前講座の一環として、理学療法学専攻の古井先生、久利先生、作業療法学専攻の勝山先生とボランティア学生さんが活動している「パーキンソン体操教室」。

土曜日を中心にいずみ会の方と一緒に体操とその季節に応じた内容を盛り込んで、善兵衛ランドや本学周辺で行っています。

10月は熊取交流センターレング館周辺で散歩を兼ねた野外リハビリ、12月はクリスマス会を楽しみました。

一人ではなかなかできない体操も皆で声をかけあうことで、楽しく体を動かすことができます。

病気の進行を予防するために、この体操教室は大いに貢献していると思います。この体操教室を待っている方々の笑顔に、スタッフもやりがいを感じています。これからも毎月頑張ります!!



大阪河崎リハビリテーション大学

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科

□ 言語聴覚学専攻 □ 作業療法学専攻 □ 理学療法学専攻

〒597-0104 大阪府貝塚市水間 158 番地 TEL:072-446-6700(代) FAX:072-446-6767

ホームページ <http://www.kawasakigakuen.ac.jp/> Eメール nyushi@kawasakigakuen.ac.jp

◇ 着任された先生紹介 ◇

今年から理学療法学専攻講師としてお世話になる高倉利恵です。

専門は、小児理学療法と徒手療法です。

子供は世界の宝です。子供たちの治療に関わってきて、その中から多くのことを学んできました。

理学療法士になりたての頃、脳性麻痺の男子中学生の歩行訓練をしていた時にこんな経験をしました。

彼の歩行器の持ち方が、ハンドルを人差し指と中指の間に挟むという方法だったので、ハンドルを親指と人差し指の間で持つように言いました。新米であり臨床経験の極めて少なかった私は、教科書どおりに治療を進める以外の方法が考えられず、パワーグリップの基本である親指を使うよう指示したのです。彼の返答は「親指を使う方法は、実に持ちにくく、歩行器をうまく押すことができない。だから歩けない。」でし



た。親指を使う方法が多くの人にとって合理的であっても、その方法が彼の肩や首の緊張を高め、歩行器を動かすことを困難なものとし、スムーズな歩行を妨げていたのです。

この経験から、教科書どおりの方法で人の機能を高めることができる場合もあれば、逆にこの例のように、人の機能を奪ってしまう場合もあるということを知られました。そして、少ない力で楽に動ける方法を教えることがその人の機能を高め、実生活の役に立つのだということを学びました。その方法が理論的あるいは科学的に正しくなくても、その人にとって効果的であり、危険や苦痛を伴わなければ、その方法を修正する必要はないのかもしれない。

物事を、箱の中で考えるだけではなく箱の外へ出て考えることで、視野を広げることができます。視野が広がれば、今まで見えなかったことが見えてきて、多くの発見に出会えます。ここで、多くの、新しい発見に出会えることを望みます。

はじめまして。この1月より着任しました理学療法学専攻の岡健司と申します。理学療法士として、主に訪問リハビリや通所リハビリといった在宅系サービスに関わらせて頂きましたが、同時に、歩行や食行動の進化に関心があり、ヒト以外の霊長類（サル）などの運動解析にも取り組んできました。

自他ともに認めるインドア派で、休日に外出しても、図書館や博物館など日の当たらない屋内でおとなしく過ごすことが多いです。独身時代には、小劇場で芝居や映画をみてか



ら安酒を飲んで帰るというコースを取るのも好きでした。しかし、日の当たる場所が大嫌いというわけではなく、訪問リハビリには真夏でも自転車をよく使っていました。最近でも、夜遊びは控え目にして、保育所通いの二人の子供と一緒に公園で遊んだりしています。「そのうち大きくなって、『キャッチボールしよう』などと、激しい運動を要求するようになったらどうしよう…」と杞憂してはいますが、まだまだ勉強することの多い若輩の身ですが、少しでも学生の皆さんのお役に立てるよう、頑張って育ちたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

◇ 東北へボランティア活動 ◇

昨年の夏に東北ボランティアに参加し、宮城県亘理（わたり）町に約1週間滞在しました。

床下にたまった泥のかき出しや家の解体作業、地元の漁師さんの網の修復や漁の道具の洗浄などを行いました。テレビでは見ていましたが、実際に行ってみると被災地の荒廃した景色は見慣れた日本のものとは全く違い、まるで映画



の中に迷い込んだように感じて圧倒されてしまいました。その様な中であっても復興へと努力をする東北の方々に人間の強さを感じました。

ボランティアをした数か月後に漁師さん方から、イクラの入った鮭が2尾も届きました。手紙に「ボランティアに来てくださりありがとうございました。おかげでまた漁に出ようという気持ちになり、魚を捕ることができました。」と書かれてありました。少しでも東北の方々の役に立つことができたことを知って嬉しかったです。早速お礼の電話をしたのですが訛りが強く、おっしゃっていることが全てわかった訳ではありませんが、思いはひしひしと伝わってきました。これからも東北支援の為に、自分のできることをやっていきたいです。

言語聴覚学専攻 3年 伊藤海人

◇ オープンキャンパス ◇

3/25 (日)・5/27 (日)
10時~16時

自分の将来を夢見て、どんな仕事に就こうかな？と考えている高校生の皆さん、社会に出てみただけどやっぱり資格を取らないと・・・と悩んでいる方、理学療法と作業療法の違いって何だろう？医療系の仕事に興味のある方など・・・一度春のオープンキャンパスを覗きにきてみませんか？

ご家族、お友達も是非一緒に、お越しください。
お待ちしております。
詳しくはHPを！

